

熊本市 感染症発生動向調査 速報



◆感染性胃腸炎が増えています↑◆

●感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。

◆どんな病気？

- ・症状……吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児では嘔吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢(白色便)、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。
- ・潜伏期間…1～3日程度(病原体により異なる)
- ・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染、吐物や便を介しての感染、または汚染された食品を食べることによる感染があります。
- ・流行期……ノロウイルスによる胃腸炎は11月～3月、ロタウイルスは2～3月に多い傾向があり、アデノウイルスは年間を通してみられます。



◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。
- ・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者では、吐物が気管に入り誤嚥性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。
- ・嘔吐の症状がおさまったら、少しずつ水分を補給し、回復してきたら消化の良い食事をとり、安静に努めましょう。

◆予防法は？

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯、アルコール(ノロウイルスには無効)等でしっかり消毒しましょう。

期 間		平成28年 第47週		平成28年 第48週	
		11/21～11/27		11/28～12/4	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		19	0.76	23	0.92
RSウイルス感染症		5	0.31	7	0.44
咽頭結膜熱(プール熱)		6	0.38	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		21	1.31	40	2.50
感染性胃腸炎		118	7.38	162	10.13
水痘(みずぼうそう)		10	0.63	5	0.31
手足口病		49	3.06	31	1.94
伝染性紅斑(りんご病)		3	0.19	1	0.06
突発性発しん		7	0.44	13	0.81
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		6	0.38	5	0.31
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		12	0.75	16	1.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		22	4.40	19	3.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	2	0.40
マイコプラズマ肺炎		5	1.00	5	1.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00